

各 位

不動産投資信託証券発行者名  
 東京都千代田区丸の内二丁目7番3号  
 東京ビルディング  
 日本リテールファンド投資法人  
 代表者名 執行役員 難波修一  
 (コード番号 8953)

資産運用会社名  
 三菱商事・ユービーエス・リアルティ株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 辻 徹  
 問合せ先 執行役員リテール本部長 荒木慶太  
 TEL. 03-5293-7081 E-mail: jrf-8953.ir@mc-ubs.com  
 URL: http://www.jrf-reit.com/

### 新投資口発行及び投資口売出しに関するお知らせ

日本リテールファンド投資法人(以下「本投資法人」といいます。)は、平成 29 年 2 月 27 日開催の本投資法人役員会において、新投資口発行及び投資口売出しに関し決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 募集による新投資口発行

- (1) 募集投資口数 : 下記①及び②の合計による本投資法人の投資口(以下「本投資口」という。) 112,500 口
- ① 下記(5)①及び②記載の各募集における国内引受会社及び海外引受会社の買取引受の対象投資口として本投資口 110,000 口
- ② 下記(5)②記載の海外募集における海外引受会社に付与する追加的に発行する本投資口を買い取る権利の対象投資口の上限として本投資口 2,500 口
- (2) 払込金額 : 未定(平成 29 年 3 月 7 日(火)から平成 29 年 3 月 9 日(木)までの間のいずれかの日(以下「発行価格等決定日」という。)に開催する役員会において決定する。なお、払込金額(発行価額)とは、本投資法人が新投資口 1 口当たりの払込金として下記(5)②記載の引受人から受け取る金額をいう。)
- (3) 払込金額 : 未定  
(発行価額)の総額
- (4) 発行価格 : 未定  
(募集価格) 発行価格(募集価格)は、発行価格等決定日の株式会社東京証券取引所(以下「東京証券取引所」という。)における本投資口の普通取引の終値(当日に終値のない場合には、その日に先立つ直近日の終値)に 0.90~1.00 を乗じた価格(1 円未満端数切捨て)を仮条件として、需要状況等を勘案した上で、発行価格等決定日に開催する役員会において決定する。
- (5) 募集方法 : 国内及び海外における同時募集(下記「2. 投資口売出し(オーバーアロットメントによる売出し)」記載のオーバーアロットメントによる売出しと併せて「グローバル・オフリング」といい、ジョイント・グローバル・コーディネーターは S M B C 日興証券株式会社、Morgan Stanley & Co. International plc 及び U B S 証券株式会社とする。)

ご注意：本報道発表文は本投資法人の新投資口発行及び投資口売出しに関して一般に公表するための文書であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず本投資法人が発行する新投資口発行及び投資口売出届出目論見書並びに訂正事項分(作成された場合)をご覧頂いた上で、投資家ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

また、本報道発表文は、米国における証券の募集を構成するものではありません。1933年米国証券法に基づいて証券の登録を行うか、又は登録の免除を受ける場合を除き、米国において証券の募集又は販売を行うことは出来ません。米国において証券の公募が行われる場合には、1933年米国証券法に基づいて作成される英文のプロスペクタスが用いられます。プロスペクタスは、当該証券の発行法人又は売出人より入手することができますが、これには発行法人及びその経営陣に関する詳細な情報並びにその財務諸表が記載されます。なお、本件においては米国における証券の公募は行われません。

① 国内一般募集

日本国内における一般募集（以下「国内一般募集」という。）とし、SMB C日興証券株式会社、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社、UBS証券株式会社、野村証券株式会社、大和証券株式会社及びみずほ証券株式会社（以下「国内引受会社」と総称する。）に国内一般募集分の全投資口を買取引受けさせる。SMB C日興証券株式会社、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社及びUBS証券株式会社を共同主幹事会社兼ジョイント・ブックランナーとする。

② 海外募集

米国、欧州及びアジアを中心とする海外市場（ただし、米国においては1933年米国証券法ルール144Aに基づく適格機関投資家への販売のみとする。）における募集（以下「海外募集」といい、国内一般募集と併せて「本募集」という。）とし、UBS AG, London Branch, Morgan Stanley & Co. International plc 及び SMBC Nikko Capital Markets Limited を共同主幹事会社兼ジョイント・ブックランナーとする海外引受会社（以下「海外引受会社」と総称し、国内引受会社と併せて「引受人」と総称する。）に海外募集分の全投資口を総額個別買取引受けさせる。また、海外引受会社に対して上記(1)②記載の追加的に発行する本投資口を買い取る権利を付与する。

③ 本募集の総発行数は112,500口であり、国内一般募集における発行数は55,000口を目処とし、海外募集における発行数は57,500口（海外引受会社による買取引受けの対象口数55,000口及び海外引受会社に付与する追加的に発行する本投資口を買い取る権利の対象口数2,500口）を目処として募集を行うが、その最終的な内訳は、需要状況等を勘案した上で、発行価格等決定日に決定される。

- (6) 引受契約の内容：引受人は、下記(9)記載の払込期日に払込金額（発行価額）の総額を本投資法人に払い込むものとし、本募集における発行価格（募集価格）の総額と払込金額（発行価額）の総額との差額は、引受人の手取金とする。本投資法人は、引受人に対して引受手数料を支払わない。
- (7) 申込単位：1口以上1口単位
- (8) 申込期間：発行価格等決定日の翌営業日から発行価格等決定日の2営業日後の日（国内一般募集）まで。
- (9) 払込期日：平成29年3月14日(火)から平成29年3月16日(木)までの間のいずれかの日。ただし、発行価格等決定日の5営業日後の日とする。
- (10) 受渡期日：払込期日の翌営業日
- (11) 発行価格（募集価格）、払込金額（発行価額）、国内一般募集に係る投資口数及び海外募集に係る投資口数（上記(1)①記載の買取引受けの対象口数及び上記(1)②記載の追加的に発行する本投資口を買い取る権利の対象口数）の最終的な内訳その他この新投資口発行に必要な事項は、今後開催する役員会において決定する。

ご注意：本報道発表文は本投資法人の新投資口発行及び投資口売出しに関して一般に公表するための文書であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず本投資法人が発行する新投資口発行及び投資口売出届出目論見書並びに訂正事項分（作成された場合）をご覧頂いた上で、投資家ご自身の判断でなされるようお願いいたします。また、本報道発表文は、米国における証券の募集を構成するものではありません。1933年米国証券法に基づいて証券の登録を行うか、又は登録の免除を受ける場合を除き、米国において証券の募集又は販売を行うことは出来ません。米国において証券の公募が行われる場合には、1933年米国証券法に基づいて作成される英文のプロスペクトスが用いられます。プロスペクトスは、当該証券の発行法人又は売出人より入手することができますが、これには発行法人及びその経営陣に関する詳細な情報並びにその財務諸表が記載されます。なお、本件においては米国における証券の公募は行われません。

- (12) 上記各号のうち国内一般募集に係る事項については、金融商品取引法による届出の効力発生を条件とする。

2. 投資口売出し（オーバーアロットメントによる売出し）（下記〈ご参考〉を参照のこと。）

- (1) 売 出 人 : S M B C 日 興 証 券 株 式 会 社  
(2) 売 出 投 資 口 数 : 本 投 資 口 2,500 口

上記売出投資口数は、国内一般募集にあたり、その需要状況等を勘案した上で、SMB C 日興証券株式会社が行うオーバーアロットメントによる売出しの投資口数である。上記売出投資口数は、オーバーアロットメントによる売出しの上限の売出投資口数であり、需要状況等により減少し、又はオーバーアロットメントによる売出しそのものが全く行われぬ場合がある。売出投資口数は、国内一般募集の需要状況等を勘案した上で、発行価格等決定日に開催する役員会において決定する。

- (3) 売 出 価 格 : 未 定（発行価格等決定日に開催する役員会において決定する。なお、売出価格は、国内一般募集における発行価格（募集価格）と同一とする。）  
(4) 売 出 価 額 の 総 額 : 未 定  
(5) 売 出 方 法 : 国内一般募集にあたり、その需要状況等を勘案した上で、国内一般募集とは別に、SMB C 日興証券株式会社が本投資法人の投資主である三菱商事株式会社（以下「三菱商事」という。）から 2,500 口を上限として借り入れる本投資口（以下「借入投資口」という。）の日本国内における売出しを行う。  
(6) 申 込 単 位 : 1 口 以 上 1 口 単 位  
(7) 申 込 期 間 : 国内一般募集における申込期間と同一とする。  
(8) 受 渡 期 日 : 国内一般募集における受渡期日と同一とする。  
(9) 国内一般募集を中止した場合は、オーバーアロットメントによる売出しも中止する。  
(10) 売出価格、その他オーバーアロットメントによる売出しに必要な事項は、今後開催する役員会において決定する。  
(11) 上記各号については、金融商品取引法による届出の効力発生を条件とする。

ご注意：本報道発表文は本投資法人の新投資口発行及び投資口売出しに関して一般に公表するための文書であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず本投資法人が発行する新投資口発行及び投資口売出届出目論見書並びに訂正事項分（作成された場合）をご覧頂いた上で、投資家ご自身の判断でなされるようお願いいたします。また、本報道発表文は、米国における証券の募集を構成するものではありません。1933年米国証券法に基づいて証券の登録を行うか、又は登録の免除を受ける場合を除き、米国において証券の募集又は販売を行うことは出来ません。米国において証券の公募が行われる場合には、1933年米国証券法に基づいて作成される英文のプロスペクトスが用いられます。プロスペクトスは、当該証券の発行法人又は売出人より入手することができますが、これには発行法人及びその経営陣に関する詳細な情報並びにその財務諸表が記載されます。なお、本件においては米国における証券の公募は行われません。

### 3. 第三者割当による新投資口発行

- (1) 募集投資口数：本投資口 2,500 口
- (2) 払込金額（発行価額）：未定（発行価格等決定日に開催する役員会において決定する。なお、払込金額（発行価額）は国内一般募集における払込金額（発行価額）と同一とする。）
- (3) 払込金額：未定  
（発行価額）の総額
- (4) 割当先及び投資口数：SMB C日興証券株式会社 2,500 口
- (5) 申込単位：1 口以上1 口単位
- (6) 申込期間（申込期日）：平成 29 年 3 月 28 日（火）
- (7) 払込期日：平成 29 年 3 月 29 日（水）
- (8) 上記(6)記載の申込期間（申込期日）までに申込みのない投資口については、発行を打ち切るものとする。
- (9) 払込金額（発行価額）、その他この第三者割当による新投資口発行（以下「本第三者割当」という。）に必要な事項は、今後開催する役員会において決定する。
- (10) 国内一般募集による新投資口発行を中止した場合は、本第三者割当も中止する。
- (11) 上記各号については、金融商品取引法による届出の効力発生を条件とする。

#### <ご参考>

国内一般募集にあたり、その需要状況等を勘案した上で、SMB C日興証券株式会社が本投資法人の投資主である三菱商事から2,500口を上限として借り入れる本投資口（借入投資口）の日本国内における売出し（オーバーアロットメントによる売出し）を行う場合があります。オーバーアロットメントによる売出しの売出数は上限の売出数であり、需要状況等により減少し、又はオーバーアロットメントによる売出しそのものが全く行われない場合があります。

なお、オーバーアロットメントによる売出しに関連して、SMB C日興証券株式会社が借入投資口の返還に必要な本投資口を取得させるために、本投資法人は平成29年2月27日（月）開催の本投資法人の役員会において、SMB C日興証券株式会社を割当先とする本投資口2,500口の本第三者割当を、平成29年3月29日（水）を払込期日として行うことを決議しています。

また、SMB C日興証券株式会社は、国内一般募集及びオーバーアロットメントによる売出しの申込期間の終了する日の翌日から平成29年3月24日（金）までの間（以下「シンジケートカバー取引期間」といいます。）、借入投資口の返還を目的として、東京証券取引所においてオーバーアロットメントによる売出しに係る口数を上限とする本投資口の買付け（以下「シンジケートカバー取引」といいます。）を行う場合があります。SMB C日興証券株式会社がシンジケートカバー取引により買い付けたすべての本投資口は、借入投資口の返還に充当されます。なお、シンジケートカバー取引期間内において、SMB C日興証券株式会社の判断で、シンジケートカバー取引を全く行わず、又はオーバーアロットメントによる売出しに係る口数に至らない口数でシンジケートカバー取引を終了させる場合があります。

更に、SMB C日興証券株式会社は、国内一般募集及びオーバーアロットメントによる売出しに伴って安定操作取引を行うことがあり、かかる安定操作取引により買い付けた本投資口の全部又は一部を借入投資口の返還に充当することがあります。また、安定操作取引により買い付けた本投資口の全部又は一部を、海外募集の一部の決済にあてるため、海外引受会社に譲渡する場合があります。

オーバーアロットメントによる売出しに係る口数から、シンジケートカバー取引及び安定操作取引によって買い付け、借入投資口の返還に充当する口数を減じた口数について、SMB C日興証券株式会社は本第三者割

ご注意：本報道発表文は本投資法人の新投資口発行及び投資口売出しに関して一般に公表するための文書であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず本投資法人が発行する新投資口発行及び投資口売出届出目論見書並びに訂正事項分（作成された場合）をご覧頂いた上で、投資家ご自身の判断でなされるようお願いいたします。  
また、本報道発表文は、米国における証券の募集を構成するものではありません。1933年米国証券法に基づいて証券の登録を行うか、又は登録の免除を受ける場合を除き、米国において証券の募集又は販売を行うことは出来ません。米国において証券の公募が行われる場合には、1933年米国証券法に基づいて作成される英文のプロスペクトスが用いられます。プロスペクトスは、当該証券の発行法人又は売出人より入手することができますが、これには発行法人及びその経営陣に関する詳細な情報並びにその財務諸表が記載されます。なお、本件においては米国における証券の公募は行われません。

当に係る割当に応じ、本投資口を取得する予定です。そのため本第三者割当における発行口数の全部又は一部につき申込みが行われず、その結果、失権により本第三者割当における最終的な発行口数がその限度で減少し、又は発行そのものが全く行われない場合があります。

なお、オーバーアロットメントによる売出しが行われるか否か及びオーバーアロットメントによる売出しが行われる場合の売出数については、発行価格等決定日に決定されます。オーバーアロットメントによる売出しが行われない場合には、SMB C日興証券株式会社による三菱商事からの本投資口の借入れは行われません。したがって、SMB C日興証券株式会社は、本第三者割当に係る割当に応じず、申込みを行わないため、失権により本第三者割当における新投資口発行は全く行われません。また、東京証券取引所におけるシンジケートカバー取引も行われません。

上記取引について、SMB C日興証券株式会社は、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社及びUBS証券株式会社と協議の上、これらを行います。

#### 4. 今回の新投資口発行による発行済投資口数の推移

現在の発行済投資口総数	2,552,198口	
本募集に係る新投資口発行による増加投資口数	112,500口	(注1)
本募集に係る新投資口発行後の発行済投資口総数	2,664,698口	(注1)
本第三者割当に係る新投資口発行による増加投資口数	2,500口	(注2)
本第三者割当に係る新投資口発行後の発行済投資口総数	2,667,198口	(注2)

(注1) 上記「1. 募集による新投資口発行」(1)②記載の海外引受会社に付与する追加的に発行する本投資口を買い取る権利のすべてが海外引受会社により行使され、発行が行われた場合の口数を記載しています。

(注2) 本第三者割当の発行新投資口数の全口数についてSMB C日興証券株式会社から申込みがあり、発行が行われた場合の口数を記載しています。

#### 5. 発行の目的及び理由

新たな特定資産（投資信託及び投資法人に関する法律第2条第1項における意味を有します。以下同じです。）を取得することで多様性のあるポートフォリオを構築し、ひいては投資主価値を向上させることを目的として、マーケット動向等を勘案した結果、新投資口の発行を決定したものです。

#### 6. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期

##### (1) 調達する資金の額（差引手取概算額）

25,836,000,000円（上限）

(注) 国内一般募集における手取金12,357,000,000円、海外募集における手取金上限12,918,000,000円及び国内一般募集と同日付をもって決議された本第三者割当における手取金上限561,000,000円を合計した金額を記載しています。また、上記金額は、平成29年2月7日（火）現在の東京証券取引所における本投資口の普通取引の終値を基準として算出した見込額です。

##### (2) 調達する資金の具体的な使途及び支出予定時期

国内一般募集における手取金（12,357,000,000円）は、海外募集における手取金上限（12,918,000,000円）と併せて、平成28年9月28日付で公表した「国内不動産信託受益権の取得に関するお知らせ【春日井（底地）】」及び本日付で公表した「国内不動産信託受益権の取得に関するお知らせ【春日井（底地）】（続報）」並びに本日付で公表した「国内不動産信託受益権の取得に関するお知らせ」に記載の本投資法人による新たな特定資産の取得資金の一部に充当します。なお、国内一般募集と同日付をもって決議された本第三者割当による新投資口発行の手取金上限（561,000,000円）については、当該特定資産の取得資金の一部に充当し、残額があれば手元資金とし、支出するまでの間は金融機関に預け入れ、将来の特定資産の取得等に充当します。

(注) 上記の各手取金は、平成29年2月7日（火）現在の東京証券取引所における本投資口の普通取引の終値を基準として算出した見込額です。

ご注意：本報道発表文は本投資法人の新投資口発行及び投資口売出しに関して一般に公表するための文書であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず本投資法人が発行する新投資口発行及び投資口売出届出目論見書並びに訂正事項分（作成された場合）をご覧頂いた上で、投資家ご自身の判断でなされるようお願いいたします。また、本報道発表文は、米国における証券の募集を構成するものではありません。1933年米国証券法に基づいて証券の登録を行うか、又は登録の免除を受ける場合を除き、米国において証券の募集又は販売を行うことは出来ません。米国において証券の公募が行われる場合には、1933年米国証券法に基づいて作成される英文のプロスペクトスが用いられます。プロスペクトスは、当該証券の発行法人又は売出人より入手することができますが、これには発行法人及びその経営陣に関する詳細な情報並びにその財務諸表が記載されます。なお、本件においては米国における証券の公募は行われません。

7. 配分先の指定

該当事項はありません。

8. 今後の見通し

本日付で公表した「平成 29 年 2 月期（第 30 期）及び平成 29 年 8 月期（第 31 期）の運用状況の予想の修正並びに平成 30 年 2 月期（第 32 期）の運用状況及び分配金の予想に関するお知らせ」をご参照ください。

9. 最近 3 営業期間の運用状況及びエクイティ・ファイナンスの状況等

(1) 最近 3 営業期間の運用状況（注 1）

	平成 27 年 8 月期	平成 28 年 2 月期	平成 28 年 8 月期
1 口当たり 当期純利益（注 2）	4,415 円	4,285 円	4,239 円
1 口当たり分配金	4,204 円	4,200 円	4,250 円
実績配当性向	95.2%	98.2%	100.3%
1 口当たり純資産	161,122 円	162,489 円	162,712 円

（注 1）上記の最近 3 営業期間における本投資法人の発行済投資口数は、平成 27 年 9 月 9 日及び平成 27 年 10 月 7 日にそれぞれ公募及び第三者割当による新投資口の発行を行った結果、平成 27 年 8 月期末の 2,430,198 口から、平成 28 年 2 月期末の 2,552,198 口に増加しています。

（注 2）1 口当たり当期純利益は、当期純利益を日数加重平均投資口数で除することにより算出しています。

(2) 最近の投資口価格の状況

① 最近 3 営業期間の状況

	平成 27 年 8 月期	平成 28 年 2 月期	平成 28 年 8 月期
始 値	259,800 円	222,700 円	257,200 円
高 値	260,300 円	272,600 円	274,800 円
安 値	218,000 円	203,700 円	231,600 円
終 値	223,600 円	257,200 円	232,300 円

② 最近 6 カ月間の状況

	平成 28 年 9 月	10 月	11 月	12 月	平成 29 年 1 月	2 月
始 値	232,700 円	247,800 円	235,400 円	233,400 円	238,000 円	243,000 円
高 値	250,900 円	248,400 円	237,600 円	238,800 円	245,000 円	243,000 円
安 値	231,300 円	224,200 円	217,800 円	226,200 円	233,900 円	225,700 円
終 値	250,100 円	237,900 円	232,200 円	236,600 円	241,600 円	230,400 円

（注）平成 29 年 2 月の投資口価格については、平成 29 年 2 月 24 日現在で記載しています。

③ 発行決議日の前営業日における投資口価格

	平成 29 年 2 月 24 日
始 値	225,700 円
高 値	231,500 円
安 値	225,700 円
終 値	230,400 円

ご注意：本報道発表文は本投資法人の新投資口発行及び投資口売出しに関して一般に公表するための文書であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず本投資法人が発行する新投資口発行及び投資口売出届出目論見書並びに訂正事項分（作成された場合）をご覧ください。また、本報道発表文は、米国における証券の募集を構成するものではありません。1933年米国証券法に基づいて証券の登録を行うか、又は登録の免除を受ける場合を除き、米国において証券の募集又は販売を行うことは出来ません。米国において証券の公募が行われる場合には、1933年米国証券法に基づいて作成される英文のプロスペクトスが用いられます。プロスペクトスは、当該証券の発行法人又は売出人より入手することができますが、これには発行法人及びその経営陣に関する詳細な情報並びにその財務諸表が記載されます。なお、本件においては米国における証券の公募は行われません。

(3) 最近3営業期間のエクイティ・ファイナンスの状況

① 公募増資

発行期日	平成27年9月9日
調達資金の額	23,453,189,500円
払込金額（発行価額）	196,261円
募集時における発行済投資口総数	2,430,198口
当該募集による発行投資口数	119,500口
募集後における発行済投資口総数	2,549,698口
発行時における当初の資金用途	全額を取得予定の特定資産の取得資金の一部に充当
発行時における支出予定時期	平成27年9月以降
現時点における充当状況	上記支出予定時期に全額を充当済み

② 第三者割当増資

発行期日	平成27年10月7日
調達資金の額	490,652,500円
払込金額（発行価額）	196,261円
募集時における発行済投資口総数	2,549,698口
当該募集による発行投資口数	2,500口
募集後における発行済投資口総数	2,552,198口
発行時における当初の資金用途	取得予定の特定資産の取得資金の一部に充当し、残額があれば手元資金とし、支出するまでの間は金融機関に預け入れ、将来の特定資産の取得等に充当
発行時における支出予定時期	平成27年10月以降
現時点における充当状況	上記支出予定時期に全額を充当済み

10. その他（売却・追加発行等の制限）

- (1) グローバル・オフアリングに関し、三菱商事・ユービーエス・リアルティ株式会社は、ジョイント・グローバル・コーディネーターの事前の書面による承諾を受けることなしに、発行価格等決定日から受渡期日以降180日間を経過する日までの期間、グローバル・オフアリング前から所有している本投資口の売却等を行わない旨等を合意しています。
- (2) グローバル・オフアリングに関し、三菱商事は、ジョイント・グローバル・コーディネーターの事前の書面による承諾を受けることなしに、発行価格等決定日から受渡期日以降180日間を経過する日までの期間、グローバル・オフアリング前から所有している本投資口の売却等（ただし、オーバーアロットメントによる売出しに伴う、本投資口のSMB C日興証券株式会社への貸付け等を除きます。）を行わない旨等を合意しています。
- (3) グローバル・オフアリングに関し、本投資法人は、ジョイント・グローバル・コーディネーターの事前の書面による承諾を受けることなしに、発行価格等決定日から受渡期日以降90日間を経過する日までの期間、本投資口の発行等（ただし、本募集、本第三者割当及び投資口分割による本投資口の発行等を除きます。）を行わない旨等を合意しています。
- (4) 上記(1)ないし(3)の場合において、ジョイント・グローバル・コーディネーターは、その裁量で当該合意内容を一部若しくは全部につき解除し、又はその制限期間を短縮する権限を有しています。

以上

ご注意：本報道発表文は本投資法人の新投資口発行及び投資口売出しに関して一般に公表するための文書であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず本投資法人が発行する新投資口発行及び投資口売出届出目論見書並びに訂正事項分（作成された場合）をご覧頂いた上で、投資家ご自身の判断でなされるようお願いいたします。また、本報道発表文は、米国における証券の募集を構成するものではありません。1933年米国証券法に基づいて証券の登録を行うか、又は登録の免除を受ける場合を除き、米国において証券の募集又は販売を行うことは出来ません。米国において証券の公募が行われる場合には、1933年米国証券法に基づいて作成される英文のプロスペクトスが用いられます。プロスペクトスは、当該証券の発行法人又は売出人より入手することができますが、これには発行法人及びその経営陣に関する詳細な情報並びにその財務諸表が記載されます。なお、本件においては米国における証券の公募は行われません。